

# 公開授業研究会

「主体的・協働的な学び」は、障害のある子どもたちへの教育の中で従来から大切にされ、議論され続けてきたことでもあります。本校では平成27年度より「主体的・協働的な学びを育む支援」という主題の下、4年間の授業実践研究を積み重ねてまいりました。また、毎年1月下旬に開催してきました『研究協議会』においては、研究の成果とともに主題に沿った授業を公開し、参観者の方々と協議を重ねることで、我々自身の研究を更に進めることができました。

今年度は、昨年度までの研究成果を基にし、“授業”により焦点をあて“授業”に関して広くそして深く参観者の方々と議論を重ねる時間を持ちたいと考え、『公開授業研究会』を開催する運びとなりました。

つきましては、下記の通り『公開授業研究会』を開催いたします。ご多用のことと存じますが、多くの方のご参加をお待ちしております。

◆日時 令和2年1月31日（金）9:00～16:00

◆場所 東京学芸大学附属特別支援学校・成美教育文化会館

◆日程

9:00～9:30	9:30～9:50	10:00～11:00	11:10～11:40	11:40～12:35	12:35～13:35	13:50～16:00
受付	全体会 (諸連絡)	研究授業 公開授業	全体会 (研究概要)	昼食	授業研究会	シンポジウム

## 研究授業・公開授業

幼稚部	ひかり組	研究授業 朝の集まり「おはなしであそぼう」	蓮香美園・小泉浩一 井上剛・田口悦津子
小学部	ほし組 1・2年生	研究授業 学級「いろであそぼう」	林良樹・藤野加奈子・橋本郁子
	Aグループ 3～6年生	国語	長谷川靖子・池田菜緒
	Bグループ 3～6年生	国語	仲野真史・山内裕史 ほか
中学部	1年	研究授業 くらし「ごみの分別」	岩本悠希・長谷川智子・山倉陽介
	2年	くらし	沼澤聡子・鈴木和也 ほか
	3年	くらし	野原隆弘・小家千津子 ほか
高等部	1年	学級	小島啓治・渡邊聡 ほか
	2年	研究授業 学級「大人になるということは」	川井優子・齋藤大地
	3年	学級	松本晃・岩井祐一 ほか

\*太字になっている授業が研究授業、その他は公開授業となります。

主催 東京学芸大学附属特別支援学校 後援 東京都教育委員会 東久留米市

# 研究授業 概要

## 朝の集まり「おはなしであそぼう」

幼稚部  
ひかり組



「朝の集まり」は幼児の実態を踏まえ、小集団への参加やコミュニケーション・スキルの獲得および広がり支援することを指導のねらいとしています。季節や行事・課題遊びと関連させ、年間の指導内容を第Ⅰ期～第Ⅳ期に分けています。本授業は第Ⅲ期にあたり、「子ども同士のコミュニケーションがより活発になる」ことに重点を置いています。ウクライナの民話「てぶくろ」を教員が提案する遊びとして取り入れ、【小集団で繰り返し活動する場】を設けて、子ども同士のやりとりを引き出す授業を展開します。

【共同研究者：大伴 潔 橋本 創一 林 安紀子】

## 学級「いろであそぼう」

小学部  
ほし組



本授業は色を題材に展開します。星組の「学級」では、歌やゲームを通じて楽しみながら友達との関わりを深める学習を重ねてきました。今回は、好きな色を紹介し合ったり、色のマッチングなどに協力して取り組んだりする活動を通して、児童同士の学び合いを促進するとともに、色に関する理解が深まることをねらいとしています。授業の柱となるポイントは【児童同士の多様な関わりを生み、学び合いを促進する学習形態や活動内容にする】です。

【共同研究者：濱田 豊彦 藤野 博】

## くらし「ごみの分別」

中学部  
1年



本授業では、本校独自の授業である「くらし（生活知識）」の授業として、ごみの分別について学習をします。授業の中では、ごみの分別方法や地域間の違いについて話し合い、発表するグループと、ごみの仕分けや処理の仕方を実践するグループの2つに分かれて学習に取り組みます。実際にごみを分別することで、生徒たちが【考え判断する機会】や【仲間と共に活動する機会】を設定する授業を行います。

【共同研究者：伊藤 友彦 小林 巖 澤 隆史】

## 学級「大人になるということは」

高等部  
2年



本授業では、今年度の道徳教育全体計画に基づき、出生から現在、将来の生活について考えます。動画や写真を活用しながら、話し合い活動を中心に展開します。自分の人生をより良くするためには…？理想の大人とは…？〇〇を頑張っているAさん、〇〇を楽しんでいるBさん、〇〇に挑戦するCさん。様々な人生の先輩の事例を参考に、【考え判断する機会】を大切に仲間と共に学びます。

【共同研究者：池田 一成 村山 拓 松尾 直博】

\*昨年度、本校では「主体的・協働的な学びを育む授業づくりのポイント」を学部ごとに作成いたしました。ポイントは【授業づくりの前提となるポイント】【学習活動に関するポイント】【教員の支援に関するポイント】の3つに大別しており、上記の各研究授業において特に重視するポイントを括弧内に表記しています。

## 新学習指導要領時代における授業づくり ～国立大学附属特別支援学校の取り組み～

平成29年4月、特別支援学校幼稚部教育要領及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領が、そして平成31年2月には、高等部学習指導要領（以下、新学習指導要領）が公示されました。

新学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」「育成を目指す資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」が重要なキーワードとして示されました。さらに、各教科等の示し方や指導方法、評価に関する記載についても、従前の指導要領から大きな変更がありました。

本シンポジウムでは、宇都宮大学、千葉大学、山梨大学、横浜国立大学の附属特別支援学校の研究主任の先生にお集まりいただき、各校が新学習指導要領を受けどのような研究をし、どのような授業実践をしているのかについて、発表いただきます。また、文部科学省から中村大介先生を指定討論者としてお招きし、新学習指導要領時代における授業づくりの在るべき姿について、参観者の皆様と共に考えを深めていきたいと思っております。

司会者：齋藤大地（東京学芸大学附属特別支援学校 研究主任）

話題提供者：小出博史氏（宇都宮大学教育学部附属特別支援学校 研究主任）

菅原宏樹氏（千葉大学教育学部附属特別支援学校 研究主任）

青木雄一氏（山梨大学教育学部附属特別支援学校 研究主任）

宮野雄太氏（横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 研究主任）

指定討論者：中村大介氏（文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 特別支援教育調査官）



中村大介氏

都立特別支援学校主幹教諭を経て、東京都教育庁指導主事、同統括指導主事を歴任。平成30年度より現職。

## <参加費>

参加費・・・2,000円（当日受付にてお支払いください）

お弁当代・・・1,000円（希望される方は申込書に記入し、当日受付にてお支払いください）

## <申し込み方法>

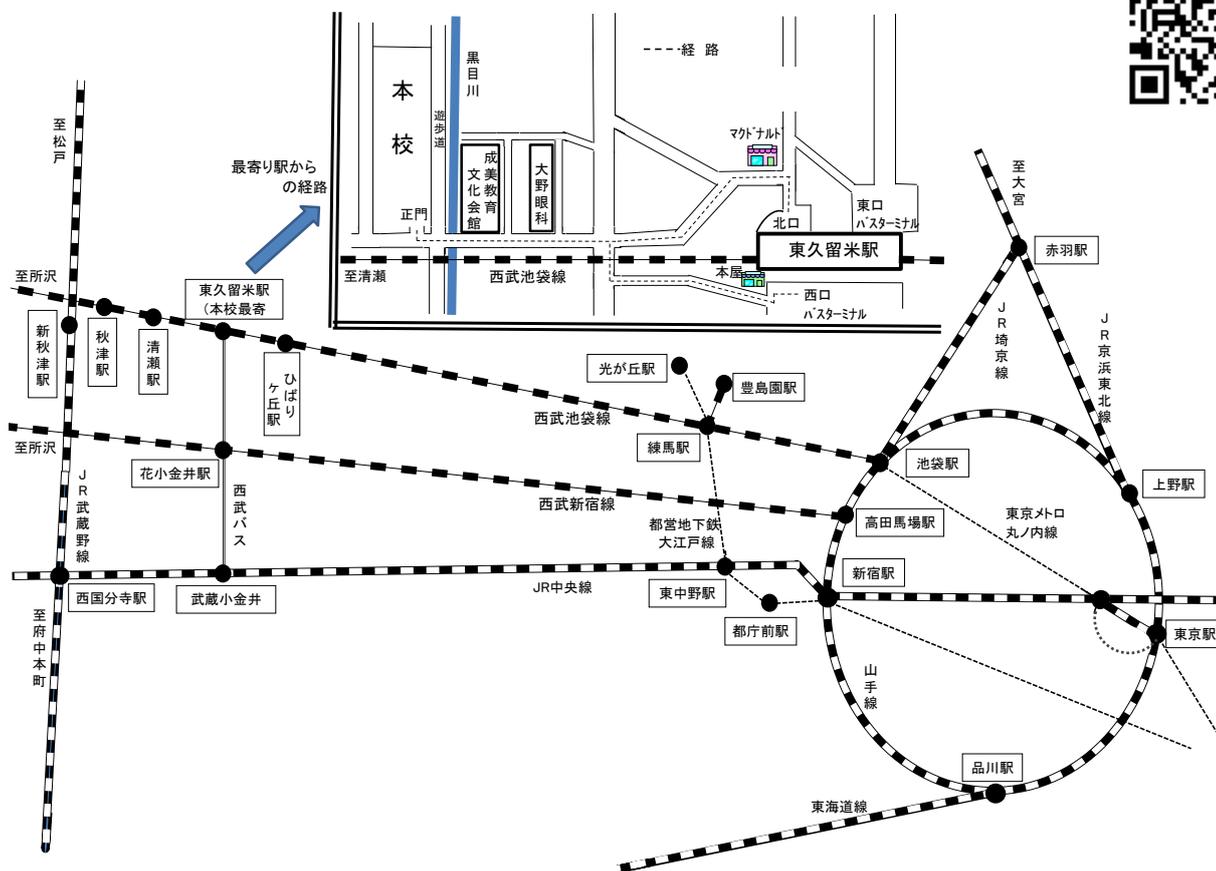
本校ホームページに「web申し込みフォーム」をご用意しておりますので、そちらからお申し込みください。尚、ファックスで申し込まれる方は、同封の「参加申込書」に参加を希望される授業研究会の番号をご記入の上、お送りください。会場の都合上、希望者が多い場合は第二希望の授業研究会をお伺いすることもございますのでご了承ください。「参加申込書」はホームページにも掲載します。締切は令和2年1月21日(火)です。締切日以降は下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

●申し込み先 <http://www.u-gakugei.ac.jp/~tokushi/> ファックス：042-471-5275

▶ お申し込みはこちら



## <会場案内>



●西武池袋線 東久留米駅東口（北口方面）徒歩10分 ●西武バス東久留米駅西口 徒歩10分

\*お車でのご来場はご遠慮ください。

## <問い合わせ先>

東京学芸大学附属特別支援学校 〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1

Tel:042-471-5274 Fax:042-471-5275

Email: [sskenkyu@u-gakugei.ac.jp](mailto:sskenkyu@u-gakugei.ac.jp) URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~tokushi/>

研究主任 齋藤大地